

ボランティア関係職員ネットワーク形成セミナー(弘前会場)

平成28年10月24日(月) 弘前市立中央公民館岩木館 大研修室

ボランティア関係職員ネットワーク形成セミナーは、ボランティアに関わる職員の皆さんの専門性と資質の向上、ネットワークの構築を目的としたセミナーです。

今年度は、青森、八戸、弘前の県内3会場で開催しました。各会場とも講師に 青森大学社会学部 教授 榊引 素夫 氏をお迎えし、「地域課題克服のためのネットワークを広めよう!～人口減少・高齢化への適応に向けて～」と題して講義して頂きました。また、午後には市町村ボランティア担当者及び市町村社会福祉協議会職員の方々に事例発表をしていただき、その後の演習では参加者同士で情報交換をしながら交流を深めました。3会場あわせて70名が参加し、参加者の皆さんは真剣な表情でセミナーに臨んでいました。

1. 講義「地域課題克服のためのネットワークを広めよう!～人口減少・高齢化への適応に向けて～」概要

○「ネットワーク」について

- ・「ネットワーク」の言葉が持つニュアンスは、時代とともに変化してきている。
- ・かつては電話やファックス等が主であったが、現在は電子メール、インターネット(ブログ、電子掲示板)、SNSというように、着々と**モバイル化・多様化**してきている。
- ・**デジタル・ディバイド**(情報通信技術を利用できる人と利用できない人との間に生じる格差)をどう克服するかが課題である。
- ・「ネットワーク」のベースは「**対話**」「**双方向**」「**対等**」である。情報通信機器のコードをつないだだけ、ファックスをPCに置き換えただけ(受信)だけではまずい。



【講師 榊引 素夫 氏】

○青森県の現状と行方(人口)

- ・県人口のピークは1983年であり、今では1世代前である。
- ・21世紀以降、県人口は年1万5000人のペース(1日40人程度、1時間に2人弱)で減少している。
- ・**減少割合、流出割合は全国ワースト級**である。

○青森県の現状と行方(高齢化・少子化)

- ・世代間で「所得格差」「情報格差」が広がっている。
- ・3人で1人の高齢者を支える「**騎馬戦型社会**」から、1人で1人の高齢者を支える「**肩車型社会**」へと移行しており、青森県はその先端にある。



【熱心に講義を聞く参加者の皆さん】

○対処すべき地域課題

- ・人口が減ることよりも恐ろしいのは、「何もしない市民」が増えることである。
- ・「**地域参画総量**(住民が地域のことを自分事としてとらえ、地域を良くしようと取り組む量)」を上げることが重要であり、そのためには当事者感覚と当事者能力の双方を高める必要がある。

2. 事例発表

○「おらほの地域応援し隊 ^{じい}Gちゃんサミット」について

北秋田市教育委員会生涯学習課 参事 松田 淳子 氏

- ・高齢者の力を活用できる仕組みを構築することをねらい、北秋田市では平成26年10月、高齢者が自ら生涯学習を楽しんでいる様子等を紹介する催し物である「Gちゃんサミット」を開催した。
- ・「第1回Gちゃんサミット」では、高齢者団体と高校書道部が連携して書道パフォーマンスを実施したり、高齢者団体がスコップ三味線を披露したりするなど、創作交流活動を行った。
- ・年1回の開催予定であったが、県からの要請もあり、26年度に2回、27年度にも2回実施している。
- ・回を重ねるにつれ、近隣の市町村とともに、東京大学とコラボして行うなど、活動が充実している。



【北秋田市教委：松田 淳子 氏】

○「声の広報」におけるボランティア活動について

黒石市社会福祉協議会 主事 毛利 洋平 氏

- ・「声の広報」とは、市報「広報くろいし」を視覚障がい者向けにテープに録音し、校正・編集した上で依頼者に郵送する事業である。現在、6名のボランティアが活動している。
- ・時期によっては予算・決算など読み上げが難しい原稿もあるが、どうすれば聞き手によりわかりやすく伝えられるかをボランティア同士で情報交換しながら実施している。また、読み上げに関する研修会に参加するなど、それぞれが技術向上を図りながら活動にあたりている。
- ・単に市報を読み上げるにとどまらず、テープの冒頭に時事的なニュースや小話などを入れるなど、利用者との交流を図っている。



【黒石市社協：毛利 洋平 氏】

3. 演習「ネットワーク形成に向けて」

長期のボランティアスタッフを受け入れる場面を設定し、5人の候補者からグループの合意により採用者を2人決定する体験プログラムを実施しました。



【演習の様子①】



【演習の様子②】



【演習の様子③】

〈参加者のアンケートから〉

- ・午前の講義、楽しく聞かせていただきました。午後の情報交換も勉強になりました。
- ・難しさが一杯。でも、新しい発見や皆さんの頑張りリーダーシップに感謝一杯です。
- ・午後、事例発表を聞かせてもらい、とても良かったです。
- ・普段の研修のグループワークと違い、とても楽しく、気軽にできました。
- ・他地区の方々とも交流ができて良かったです。